

各地の話題 涌谷町

「ありのままの農業を伝える」食農推進へ農業体験の場を提供

2025年7月4日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

涌谷町小里地区で、令和7年5月5日に都市部の消費者等を対象とした田植え体験会が開催され、総勢20名が参加した。参加者は初めて田に入り、泥の感触に戸惑いながらも、手植えと機械植を経験した。

体験会を企画したのは国家公務員を早期退職し、コメ農家へと転身した伊藤弘行さんだ。伊藤さんは「農業は大変な肉体労働という古いイメージを払拭したかった。参加者は自分のコメの購入者や学生を対象とした」と話す。

参加者は「1日で1反歩植えることができれば一人前」と言われた田植えも最新の機械を使えば最低限の人の力で作業ができることを体感した。

参加者からは「苗を植える本数や米ができるまでの過程を初めて知ることができた」といった声が聞かれた。

伊藤さんは「年々参加者は増えており、今回は興味を持った東京の大学生も参加した。SNSやメディアの情報だけではなく実体験を通じて生きた情報を話してほしい。今後も「飾らないありのままの農業を伝えていきたい」と笑顔で語った。

【記事提供】 涌谷町農業委員会

伊藤さん



田植えをする参加者



体験会参加者で記念写真

